



がんば

島原市立第三小学校
育友会報
発行部
広報部

【第109号】

もちつき

四年三組

大島 毅 朗

ペツタンコペツタンコ
 もちをつく音
 なんどもつく
 やわらかくなる
 とてもすてきな音
 ペツタンコペツタンコ
 子どものつく音
 おとなのつく音
 おとなの音
 みんなで楽しいもちつき
 おいしそうなもちが
 できあがり



雲仙普賢岳が一九八八年ぶりに噴火し、過去の島原大変の恐しい歴史と共に様々な形で私たちの生活の中に、災害に対する不安を感じさせたり、自然の凄さを見せつけてくれます。そこで、噴火直前に鍛練遠足で普賢岳へ登った六年生に感想文をお願いすると共に、育友会副会長で島原消防署の隊長でもある友永峰昭さんに、日頃の災害に対する準備や心構え等についてインタビューしました。

普賢岳と遠足

六年三組

七條 敏 和

はじめ、普賢岳がふんかしたと聞いてびっくりしました。ほくたちは、遠足で普賢岳に登りました。その時を思い出すと、きつかったことやころんだこと、いろんなことを思い出します。

ぼくがいちばん心にのこったことは、頂上は景色がよかったことと、ころんだことです。その日は晴れだったので、島原半島をぐるーっとながめられました。帰りに四〜五段の階段があつて、ぼくは

階段の上から階段の下までころげおちました。たんこぶができました。いろいろなことがあつて楽しい遠足でした。その遠足でいった普賢岳がふんかするなんてとしんじられませんでした。

お母さんとぼくは見ました。白けむりがすこし見えました。ぼくは、その時に「遠足の日にふんかしないでよかったな」と思いました。このへんはあんまりひ害をうけないなと思っていたらおおまちがいでした。むかしもふんかして地震が何回かあつてたみたいで、それで眉山がくずれて死亡した人が多いと聞きました。やばいなと思いました。眉山がくずれませんように。



普賢岳頂上にて

友永さんへのインタビュー

▼今回の噴火について、どの様な感想をお持ちですか。

私自身も驚きました。と同時に、日頃からの防災に対する関心と、心の備えが如何に大切であるかという事を痛感しました。

▼それでは、日常の防災の要点をおたずねします。

日頃から、万一地震等が起こった時に備えて、各人があわてず適切に処置するためには何が大切であるか考えてみました。

地震が起こった時、どのように行動したらよいかという事については、過去の経験をもとにいろいろのことが考えられますが、その主な心得の十ヶ条は次のとおりです。

- (一)すばやく火の始末。
- (二)あわてて戸外に飛び出さず、まず丈夫な家具などに身を寄せる。
- (三)一〜二分過ぎたらまず安心。
- (四)火がでたらまず消火。
- (五)避難は徒歩で、持物は最小限に。
- (六)狭い路地、へいぎわ、がけや川

べりには近寄らない。

(七)山津波、がけ崩れに注意。

(八)海岸では津波、低地では浸水に注意。

(九)余震を恐れず、デマに迷わない。

(十)秩序を守り、衛生に注意する。

▼万々に備えての連絡方法について、どのようなことをすればよいのですか。

自宅からの避難場所のほか、出勤している時、学校にいる時、通勤途中などの避難場所についても、それぞれの場合に応じ、どこにするかを話し合い、家族全員が知っておく。

非常時の持出品を日頃からチェックしておくことも必要では、例えば現金、預金通帳、印鑑など、懐中電灯、トランジスタラジオ、ヘルメットや頭巾、応急医療品(傷薬・胃腸薬・包帯など)

▼情報を的確に入手するにはどうすればいいでしょうか。

市役所やマスコミ(NHK・民間放送)の流す情報に耳を傾け、デマにまどわされないようにする。

▼最後に、災害時にスムーズに行動するため家族でできることはありますか。

火災や地震は、たしかにこわい

ものかも知れません。しかし、日頃から防災についての関心を持ち、しっかりと心構えをしておけば、必要以上にビクビクすることはありません。

そのために、家族団らんのひととき、顔ぶれがそろったところで「我が家の防災計画」を話し合っておくことが大切ではないでしょうか。

一回だけおしまいではなく、気楽に定期的に行なえたら理想でしょうけどネ。

人権週間校内作品より

差別する目

五年一組

加藤 哲志

正しきと言うと、身体しよう害者と聞いただけで寒けがします。

車いすのつて町を行っている人を見ると、ぞくっとします。そして、その人が通りすぎるとほとくの目はとても冷たい矢になり、その人をさします。

その人が好きで車いすに乗って

いるわけでもないのに気づいていても、ほとくの目は矢になりその人をさします。なぜかというところ、それは外見がふつうの人とちがうからです。

人間は、ライオンが弱い動物を食べることをやばんというけれど、やばんなのは人間の方だと思いません。人の悪いことを見つけ、良い所を見つけようとせず、外見だけで物事を見て、その人を変な目で見てるからです。自分がこんなことをしていたと思うとはずかしくなりません。

ある本でこんな詩を見つけました。

知らないことから誤解が生まれる。

誤解をそのままにしておくとなんてなってしまう。

偏見が積み重なれば差別になるんだ……。

ぼくは、この詩に書いてあるような道を歩いて来ました。もしも道徳で人権ということについて考えなかつたら、このまま差別にながっていたと思うと、ぞつとします。

この地球で、人間が一番頭がいい動物です。そしていろいろな物を作り出し、世の中が便利になっているのに、人間の心はずっと昔からぜんぜん変わっていないと思います。昔は自分より下の物を差別していました。今では位でなく体の外見などで差別をしています。いくら便利な世の中になっても、人間の心というものはあまり変わりません。

体の不自由な人についての本を

読みました。体が不自由な人は、ふつうの人以上にがんばって生きようとしています。ほくも、こういう人たちから生きる事のすばらしさを学び、外見で人間を差別などをしないような人になりたいです。



おめでとう

じゅんす

育友会長の相良耕作氏が、長年の育友会活動の功績が認められ、長崎県PTA連合会、九州PTA連合会から同時に表彰を受けられました。

二年一組担任の島峯律子先生が、教育界の発展に寄与した功績で、島原市教育功労者の表彰を受けられました。

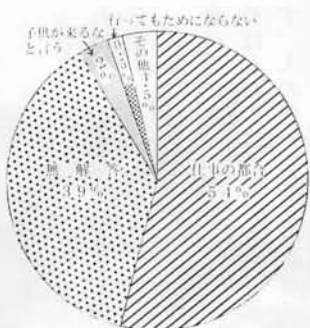
アンケート調査より



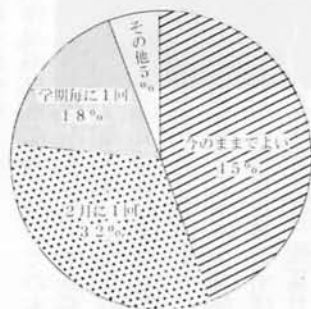
学級部では、授業参観、学級部会の運営、町内合併についてアンケート調査を行いました。

●授業参観について
Q、昨年度、授業参観に何回出席しましたか。

※無解答には、出席された方が多数含まれています。

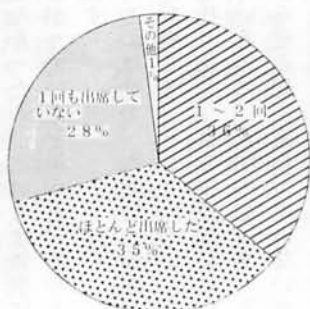


Q、現在月一回授業参観があつていますが、回数については。

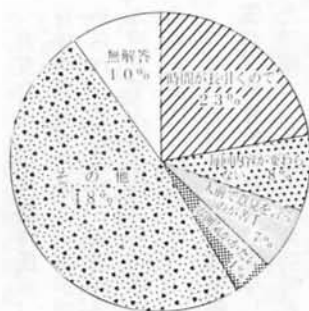


●学級部会（授業参観後の話し合い）について

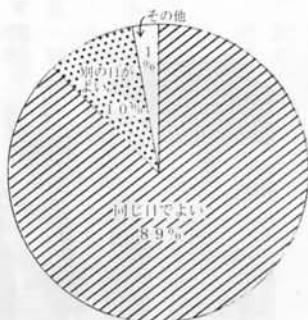
Q、昨年度、学級部会に何回出席しましたか。



Q、出席しなかった理由。



Q、授業参観と学級部会の開催日について。



●町内合併について

(過去に合併した町内名)

白土桃山一丁目・湊町
津町有馬船津・みなと
浦田元船津・坂下八幡



学級部アンケート

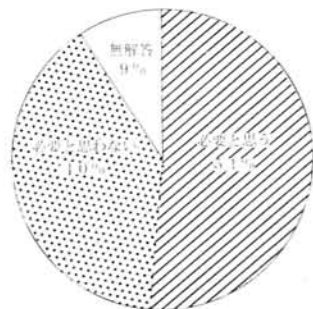
(町内合併による問題点)

- 子供会に対する考え方が町内まちまちで統一されない。
- 人数が多くなり、大人の協力が必要なのにあまり協力を得られなかった。
- 合併により人数が多くなり、統制がとれなくなった。

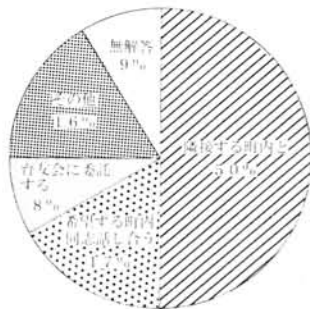
(その他の意見より)

- 合併にはいろいろなトラブルがある。
- 人数の多い町内と少ない町内では、少ない町内が気を使う。
- 合併しても人まかせでは、何町内合併してもよい結果はでない。
- 体育行事に個人競技を取り入れれば、別に合併の必要はない。

Q、将来合併は必要と思いますか。



Q、町内合併をするとしたら。



●あまり町内活動がさかんになると、役員の負担が大きくなってしまふ。もつと学校側主体の活動であつてほしい。

アンケート結果を見て

学級部長

内田 憲一郎

父兄の皆さんと先生方の御協力により、学級部のアンケート調査を完了することができました。それに広報部では、集計結果を見やすい円グラフに表示していただき、大変わかりやすいものになりました。今回のアンケート調査は、五三四世帯に配布し、四五八枚寄せられた回答により

作製したものです。授業参観については、かなりの人が出席されていますが、月に一回開催ということについて半数の方が多いのではないかと考

られます。

学級部会については、一回も出席していない・一〜二回を合わせて六十四%で、かなり出席が悪いことがわかります。出席しなかった理由については、時間が長引くというのが一番多く、部会の内容充実が望まれる様です。授業参観と学級部会の開催日については、現在のままでよいという結果が出ています。

町内合併については、半数が児童数の減少により将来合併は必要と考えていると思われま

す。以上の様な結果が出ましたが、このアンケート調査が今後のPTA活動や学校運営にお役に立てば幸いです。御協力ありがとうございました。



がんばっています

毎週水曜日の六校時に、四年生以上の子供がクラブ活動でがんばっています。いろいろなクラブがありますが、今回はそのいくつかを紹介しましょう。

クラブ名	担当者	4年生	5年生	6年生	合計
バレーボール	田中	5	10	13	28
バスケット	米水・鶴田	4	8	16	28
卓球	園田・中村	8	7	8	23
フリーテニス	平山・下田	10	10	8	28
ドッジボール	本多・竹村	16	17	16	49
球技	稲栄・古瀬	10	14	14	38
体操・ダンス	山本	0	3	0	3
一輪車	安野	11	7	6	24
陶芸	渡辺	4	4	2	10
音楽	西・柗木	5	3	14	22
図工	元村	5	9	8	22
伝承	島峯・三丸	13	2	0	15
イラスト	本田	17	4	8	29
折紙	松尾	13	5	0	18
家庭	荒木・塚本・浜田	5	18	14	37
オセロ・将棋	松崎	5	8	8	21
合計		131	129	135	395



飛べ！竹とんぼ 伝承クラブ



バランス感覚を養う 一輪車クラブ



芸術家のたまごです 陶芸クラブ

初めて広報部に加えていただき、部長さんを中心に、アレヨアレヨとできあがっていく「がんば」に感動しているうちに、二学期も終わってしまいました。ただ、編集の輪の中に居るというだけの私でしたが、顔を合わせる度に親しみがわき、声をかけ合える友人が増えていきます。とてもうれしい事です。

広報部にどんどん声をかけていただき、皆さんで楽しく「がんば」を味わいたいものです。(黒田)

編集後記



少数でもがんばってます 体操・ダンスクラブ